



# 福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：大野順道 ■幹事：金子親房
- 会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：中央清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

## 第36回例会

平成 26 年 4 月 2 日 (水) サンパレス福島

■会員/74名 ■出席/48名 ■出席率/64.86% ■メークアップ/26名 ■修正/74名 ■修正率/100.00%

### 本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 4月誕生祝い (5名)
- 4 新会員スピーチ  
関口富美男会員
- 5 ロータリーの友読みどころ
- 6 スマイル報告
- 7 幹事報告
- 8 会員スピーチ  
村上晃史会員  
鈴木弘美会員
- 9 各委員会報告
- 10 閉会点鐘

### 会員の広場

4/2 福島民報

中学生硬式野球の福島リトルシニアチームの卒団式は福島市のウィル福島で開かれ、13人が卒団した。在団生や保護者らが見守る中、富田健三郎会長が式辞を述べ、卒団生1人1人に卒団証書を手渡した。在団生代表の佐藤隆平君(西信中)が送辞を述べ、佐藤弦君(野田中)が「素晴らしい仲間と野球ができてよかった。」と答辞を述べた。引き続き懇談しながら会食し、出席者がこれまでの大会の活躍などを振り返った。

### 今日の一面記事

4/2 福島民報

東京電力福島第一原発事故の影響で、帰還困難区域となり通行規制されている六号国道の双葉一富岡間(14キロ)が、今夏にも自由に通行できる見通しとなった。石原伸晃環境相が一日の閣議後会見で、今月中に規制区間で国直轄除染を始めることを明らかにした。

## ◆会長あいさつ◆

大野 順道 会長



皆さん、こんにちは。4月の最初の例会です。梅は満開、桜のつぼみは大きくふくらみ、開花はもうすぐのようです。4月1日の昨日は、新年度を迎えた多くの

企業で新入社員の入社式が行われました。福島県や福島市でも新職員への辞令交付式が行われました。それぞれに、活躍することを期待するところです。また、消費税が17年ぶりに引き上げられ8%となりました。景気が回復していれば、来年は10%を目指すようです。ともあれ消費税が効果的に使われることを願うところです。さて、4月は「ロータリーの雑誌月間」です。ロータリーの雑誌には国際ロータリーの公式機関誌であるロータリアン誌(The Rotarian)と、RI理事会が承認した公式地域雑誌があり、日本では、「ロータリーの友」がそれにあたります。「ロータリー・クラブの会員は、会員身分を保持する限りこの

ロータリー雑誌を有料で購読しなければならない。」ことになっています。ロータリアン誌(The Rotarian)は1911年以来発行されている公式機関誌で、毎月約50万部が発行されていますが、日本の会員の多くは、公式地域雑誌である「ロータリーの友」を読んでいます。「ロータリーの友」は1953年1月号が創刊号で横書きでした。1972年1月号から、左に開けると横書き、右に開くと縦書きの現在のような雑誌の形になりました。内容は、公式ニュースの発表、RI理事会や財団管理委員会の決定事項の抄録、有意義なクラブ・プロジェクトやRI会長メッセージ(RI、指定記事)と地域に関する記事です。発行部数は95,800です(2013年6月)。「ロータリーの友」は、ロータリーについての情報誌であり、ロータリアンの公開討論の場であること。そして、いろいろな情報や思いが詰まっている倉庫から、何を取り出し、何を学び、何を感じ取るかは、ロータリアン一人ひとりに託されていると言っています。本日は、藤橋進一郎クラブ広報・雑誌委員会副委員長に読みどころをお願いしています。どうぞよろしくお願ひ致します。4月に誕生日をお迎え

の5名の方おめでとございます。また、関口富美男会員、村上晃史会員、鈴木弘美会員にはイニシエーションスピーチをお願いします。

## ◆4月誕生祝い◆

親睦活動委員会 高橋正一会員

今日は5名の方がお誕生日を迎えられました。おめでとございます。



- 佐久間 功会員  
S23. 4. 2
- 高橋 和子会員  
S☆. 4. 5
- 黒羽 好夫会員  
S24. 4. 24
- 佐藤 朋也会員  
S33. 4. 20
- 赤間 浩一会員  
S50. 4. 26

## ◆新会員スピーチ◆

関口富美男会員



皆さん今日は、関口富美男です。入会して早5か月が過ぎました。私は現在、タクシーバス車両約60台での事業運営に携わっています。現在のタクシー業界は、タクシー特措法による需給バランスの見直しをしており、大変厳しい環境になっています。是非皆様にはタクシーの利用をより一層お願いします。バス事業では、川俣町との共同で路線バスの運行やNEC向けの送迎バス、相双から避難している仮設住宅を循環するバスなどといった仕事をしています。震災直後から、県立医大より緊急物資の輸送や患者の搬送等のご用命がありました。燃料供給や道路環境の悪さもあり苦労しました。また、海外からの医療チームを受け入れ、外務省の方々と一緒に避難先の巡回を行いました。行く先々で、被災者の生の声を聞いて驚き、以前に訪れた相双、いわき地区の変わり果てた現地を見ると、自然と涙が出てきました。また、今でも全国から様々な方々が来県しています。東京のTV局のクルーや有名キャスター、芸能人が取材に訪れた際ご利用頂いています。原発事故後、内閣府より問い合わせがあり、当時の環境大臣の細野豪志さんとJビレッジに同行しました。その後、細野さんが毎週来県し県内を走り回りました。その後も環境省との契約が続いており、現在の石原環境大臣の車両を担当しています。移動の車両や食事を同席させて頂き貴重な経験をしております。こうした仕事を通じて「ロータリーの目的」「四つのテスト」など共有するものだと考えております。今後とも皆様のご指導を賜り精進致しますので宜しくお願い致します。

## ◆ロータリーの友読みどころ◆

クラブ広報・雑誌委員会

藤橋進一郎副委員長

- 横組み (4月は雑誌月間です)
- P-10 「友」を生かすも殺すも・・・
- P-33 ガバナーノミニー・デジグネート
- 縦組み
- P-19 シェールガス革命
- P-30~31 地球環境保全を・・・  
揚水・バイオマス発電所の見学

## ◆新会員スピーチ◆

村上晃史会員



1月に入会しました近畿日本ツーリストの村上です。秋田より転勤して参りました。ロータリーの目的「地域社会の職業人が例会に出席して、相互啓発しあい奉仕の情熱をもって、社会に貢献する」を私も何らかの形で実現したいと考えています。自己紹介をします。S39年生まれ、今年50歳。5人家族。妻とは小3から同級生。子供が3人。長男・次男は野球、長女はソフトボールをやっています。趣味は野球観戦です。仕事では、残された会社人生の中で、大好きな福島県内で仕事をしたい希望があり、何かお役に立てる様頑張りたいと思います。郡山から通っています。まだまだ、ロータリアンには程遠い存在ですが、近づけるようまずは例会の参加に心がけます。

鈴木弘美会員



2月26日付けで入会しました福島信用金庫南支店の鈴木です。S33年3月生まれ56歳です。福島市茂庭の出身です。福島市八島田に妻と次女と3人で住んでいます。孫が2人います。昭和51年に福島信用金庫に入庫し、39年目の勤続になります。信用金庫と銀行の違いについて話をします。信用金庫は会員出資による共同組織で非営利法人で、銀行は株式組織の営利法人です。信用金庫は事業区域が限定されます。また、融資の際には会員資格が必要です。信用金庫には3つのビジョンがあります。1. 中小企業の健全な発展 2. 豊かな国民生活の実現 3. 地域社会繁栄への奉仕です。信用金庫のビジョンにもあるように地域社会繁栄への奉仕と同様、福島南ロータリークラブでも奉仕の精神を忘れず取り組んでいきますので、宜しくお願いします。

## 一編集後記一

新年度がスタートしました。新たな気持ちで「あきない」に勤しみ、福島の復興に貢献しましょう。  
吉田(仁)